

# 第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画 進捗報告書

---

---

## 資 料 編

---

---

※各種数値については、四捨五入の関係により、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

環境局循環社会推進課  
令和7年11月

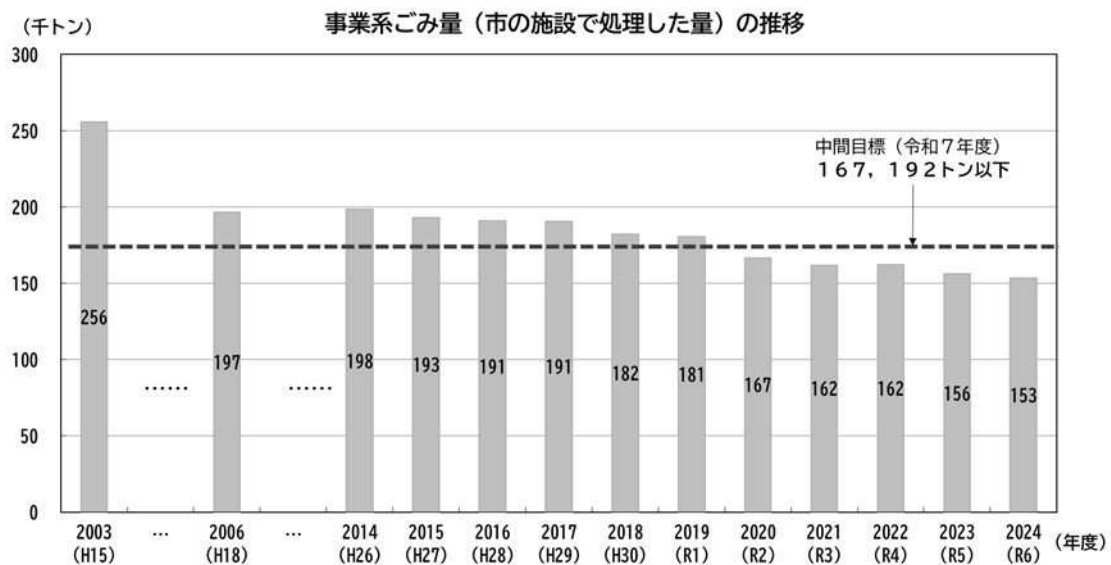
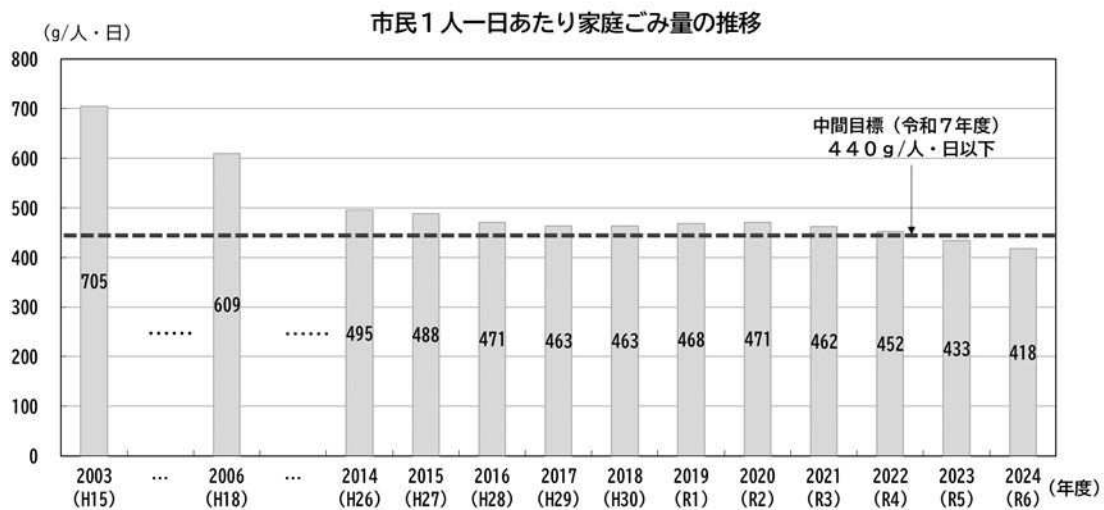
## 1 ごみ減量・リサイクルの主な取組

年度	取組み項目
H5	かん・びん分別収集開始
	オフィス町内会による古紙回収を開始
H6	粗大ごみ有料化（事前申込・戸別回収）を開始
	古紙集団資源回収奨励金制度を開始（※3 円/kg）
H9	古紙回収用保管庫無償貸与制度を開始
	ペットボトル分別収集を開始
H10	家庭ごみ有料指定袋制度を開始
H12	電気式生ごみ処理機購入助成制度を開始（※H25 年度で終了）
	紙パック・白トレイ拠点回収を開始
	北九州市一般廃棄物処理基本計画（H13～22）を策定
H14	パソコン（粗大ごみ）のリサイクルを開始
	蛍光管・色トレイ拠点回収を開始
H16	古紙集団資源回収奨励金制度を見直し ※ 軒先 5 円/kg それ以外 7 円/kg まちづくり協議会地域調整奨励金創設 2 円/kg
	事業系ごみ対策 ○ 搬入手数料改定（7 千円/トン⇒1 万円/トン） ○ 事業所からの市収集を原則廃止 ○ リサイクル可能な古紙・木材の焼却工場搬入禁止
H18	家庭ごみ収集制度見直し ○ 料金改定（大 45 リットル：15 円/袋⇒50 円/袋） ○ 資源化物有料指定袋を導入 ○ プラスチック製容器包装の分別収集を開始 ○ 小物金属の拠点回収開始等
	地域特性型（メニュー選択方式）市民環境活動推進事業を開始 ※ 剪定枝・廃食用油リサイクル事業
	全市共通ノーレジ袋ポイント事業（カンパスシール）開始 （※H26 年度で終了）
H19	溶融炉方式を採用した新門司工場稼動（ごみを溶融して再資源化）
H20	廃食用油リサイクルを開始（民間事業者による拠点回収）
H21	インクカートリッジリサイクルを開始（民間事業者による拠点回収）
	生ごみリサイクル（コンポスト化）講座開始

年度	取組み項目
H23	北九州市循環型社会形成推進基本計画（H23～R2）を策定
H25	小型家電リサイクルを開始 「市民いっせい雑がみ回収グランプリ」を開催
H26	古着の分別・リサイクル事業を開始
H27	食品ロス削減対策「残しま宣言」運動の開始
H28	北九州市循環型社会形成推進基本計画の改定 環境省モデル事業による水銀体温計・水銀血圧計・水銀温度計の回収事業の実施 水銀体温計・水銀血圧計・水銀温度計の拠点回収の開始
H29	事業系ごみ対策の強化開始 環境省実証事業によるプラスチック一括回収・リサイクル事業の実施
H30	「北九州市における食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定」を締結し、協定締結事業者の各店舗において、レジ袋の無料配布を中止
R1	北九州市プラスチックスマート推進事業の開始
R3	電池類（乾電池、電子たばこ等）の拠点回収の開始
R5	充電式電池の拠点回収の開始 製品プラスチックを含むプラスチック資源一括回収の開始

## 2 一般廃棄物処理・生活排水処理の現状

### (1) ごみ処理量



## (2) 家庭ごみの組成



## (3) 一般廃棄物の処理に伴い発生するCO<sub>2</sub>排出量

(単位: トン)

年度		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6 速報)
収集運搬 中間処理 (焼却)	燃料消費	1,983	2,077	2,022	1,972	1,916	1,957
	補助燃料 電力消費	25,538	25,347	23,780	21,400	20,120	20,794
	プラスチック 類の焼却	129,069	137,934	127,785	118,219	123,319	123,775
最終処分	燃料・ 電力消費	159	114	122	115	81	179
小計		156,749	165,471	153,709	141,706	145,437	146,705
電力・熱の外部供給※		▲ 69,036	▲ 67,211	▲ 59,116	▲ 55,384	▲ 51,193	▲ 51,379
指定袋へのバイオマス プラスチック導入				▲ 396	▲ 442	▲ 364	▲ 395
CO <sub>2</sub> 排出量		87,713	98,260	94,197	85,800	93,879	94,931
(対 21 年度比)		-27.8%	-19.2%	-22.5%	-29.3%	-22.8%	-21.9%

※東日本大震災以降、電源構成の火力発電が占める割合が増えたことにより、焼却工場のごみ発電によるCO<sub>2</sub>削減効果が一時的に大きくなっている。

#### (4) 家庭系ごみの資源化

##### ア かん・びん・ペットボトルのリサイクル

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
かん・びん	7,790	7,636	8,048	7,683	7,402	7,030	6,823
ペットボトル	2,421	2,522	2,687	2,784	2,788	2,758	2,810
収集計	10,211	10,158	10,736	10,467	10,190	9,789	9,634
分別協力率	85.5%	89.5%	80.9%	79.7%	83.6%	82.5%	80.1%

##### イ プラスチックのリサイクル

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
収集量	7,059	7,221	7,587	7,604	7,411	7,528	7,805
分別協力率	41.2%	44.4%	52.6%	45.6%	44.5%	38.5%	35.3%

※R5 年 10 月から製品プラ一括回収開始

##### ウ 紙パック・トレイのリサイクル

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
収集量	225	218	214	204	180	170	161
回収拠点数	231 箇所	232 箇所	231 箇所	227 箇所	216 箇所	216 箇所	209 箇所

##### エ 蛍光管・水銀体温計等・小物金属・小型家電のリサイクル

###### < 蛍光管・水銀体温計等 >

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	77	74	71	68	63	57	51
回収拠点数	183 箇所	183 箇所	195 箇所	194 箇所	158 箇所	158 箇所	158 箇所

###### < 小物金属 >

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	148	162	174	179	152	148	144
回収拠点数	191 箇所	169 箇所	169 箇所	130 箇所	170 箇所	170 箇所	170 箇所

<小型家電>

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	8	10	3	7	9	22	15
回収拠点数	64 箇所	63 箇所	62 箇所	62 箇所	62 箇所	88 箇所	88 箇所

※R5 年 8 月に民間事業者と協定を締結し、郵便による回収を開始

<電池類>

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	—	—	—	9	13	13	24
回収拠点数	—	—	—	42 箇所	40 箇所	41 箇所	41 箇所

オ 家庭から排出される古紙のリサイクル

(単位：トン)

年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
集団資源回収 登録団体数	1,820 団体	1,823 団体	1,813 団体	1,756 団体	1,740 団体	1,603 団体
集団資源回収量	18,607	16,916	15,795	14,791	13,406	11,983
新聞	9,270	7,708	7,129	6,482	5,748	5,032
雑誌	4,889	4,730	4,337	4,129	3,768	3,363
段ボール	3,925	3,972	3,935	3,784	3,507	3,196
その他古紙	522	507	394	396	382	391
新聞販売店による 古紙回収量	7,121	4,843	4,992	3,537	2,408	180
小売店舗の 店頭回収等	14,561	7,865	8,622	4,262	3,717	3,079
無料回収ボックス	2,386	3,346	3,784	3,904	5,090	3,245
回収量計	40,289	29,624	29,409	26,494	24,621	18,487
市民 1 人あたり 年間合計分別量	42.9 kg	31.7 kg	31.5 kg	28.6kg	26.8kg	20.4kg

## カ 廃食用油のリサイクル

### <拠点回収>

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	6	6	6	5	5	6	8
回収拠点数	17 箇所	16 箇所	16 箇所	16 箇所	16 箇所	50 箇所	51 箇所

※ 自治会・町内会等の活動実績

### <店頭回収>

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	61	63	61	65	56	55	60
回収拠点数	27 箇所	26 箇所	26 箇所	25 箇所	26 箇所	24 箇所	30 箇所

※ 市内スーパー等の店頭回収ボックスを設置

## キ 剪定枝のリサイクル

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	152	151	150	174	120	122	128
回収団体数	29 団体	28 団体	28 団体	29 団体	28 団体	29 団体	29 団体

## ク 生ごみコンポスト化容器活用講座の参加者数

(単位：人)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
生ごみコンポスト化 容器活用講座 ※1	55	50	55	64	135	265	188
地域生ごみ リサイクル講座 ※2	317	453	204	430	445	492	447

※1 生ごみコンポスト化容器に取り組む目的や各種コンポストの手法の紹介、また各手法に共通して使用できる効果的な発酵菌の製作、培養を体験する講座を実施。

※2 地域が主催する生ごみコンポスト化容器に関する講座へ、講師を派遣。

## ケ 市内スーパー等との協定によるレジ袋無料配布の中止

「北九州市における食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定」を締結している7事業者の状況。

	2016 年度推計 (実施前)	2022 年度 (R4)	2023 年度 (R5)	2024 年度 (R6)
レジ袋 お断り率	37.9%	78.8%	78.8%	78.3%



## (5) 事業系ごみの資源化（市で把握しているものに限る）

### ア 条例対象事業所における資源化の取組み

（単位：トン）

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業所数	794 箇所	785 箇所	781 箇所	781 箇所	774 箇所	773 箇所	774 箇所
資源化量	36,660	36,553	37,730	37,222	34,393	32,244	31,866
資源化率	45.2%	45.3%	45.8%	45.4%	45.8%	44.5%	44.9

※ 条例対象事業所とは、「廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」において、「廃棄物管理責任者の選任」や「再使用又は再生利用に関する計画書の提出」が義務付けられている、一定の延べ床面積以上の大規模事業者や、一定排出量以上の大量排出事業者。

### イ オフィス町内会での古紙回収

（単位：トン）

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
回収量	283	299	302	286	263	239	235
回収団体数	15 団体	14 団体	14 団体	14 団体	13 団体	13 団体	13 団体

※ オフィス町内会とは、事業者が一定地区を単位として共同で、紙類やかん・びん等の分別に取り組むもの。本市では、オフィス町内会に対し、紙類等を保管するための保管庫を無償貸与している。

### ウ 廃木材・剪定枝のリサイクル

（単位：トン）

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
民間施設でのリサイクル量	12,681	12,495	12,049	12,121	12,529	13,725	13,083

### エ 紙くずのリサイクル

（単位：トン）

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
民間施設でのリサイクル量	3,881	4,060	4,108	4,377	4,376	4,749	4,764

## オ 食品のリサイクル

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
民間施設での リサイクル量	927	848	619	525	677	597	118

## (6) 焼却処理・最終処分

### ア 焼却処理

#### (ア) 処理量

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新門司工場	99,755	100,492	94,902	95,342	95,855	94,190	86,449
日明工場	109,126	111,572	103,358	99,091	96,473	91,929	86,448
皇后崎工場	150,884	150,025	145,229	145,542	141,459	133,471	136,681
合 計	359,765	362,089	343,489	339,975	333,787	319,589	309,578

※他都市ごみは含まない。併せ産廃（一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物）を含む。

#### (イ) 発電量

(単位：MWh)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新門司工場	78,117	77,902	83,966	78,398	74,817	73,496	61,005
日明工場	33,774	37,034	34,938	32,861	32,858	33,685	40,920
皇后崎工場	100,661	100,385	98,733	98,025	91,286	81,505	86,626
合 計	212,552	215,321	217,637	209,284	198,961	188,686	188,551

## イ 一般廃棄物の最終処分量

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
響灘西地区 廃棄物処分場	52,886	51,035	49,461	45,254	41,857	39,649	42,039

## (7) ごみ処理の広域連携（現在の受入れ団体と受入れ量）

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
直方市	17,252	16,814	17,774	17,656	17,021	16,427
行橋市みやこ町 清掃施設組合	26,693	27,080	26,767	25,912	26,095	24,695
遠賀中間地域 広域行政事務組合	34,290	34,900	34,805	33,718	32,319	30,998

## (8) 不法投棄の状況

(単位：トン)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
発見件数	1,012	856	844	696	497	462	553
処理量	51	74	47	73	92	39	33
投棄者等	7	24	1	33	58	9	5
市	44	50	46	40	34	30	28

※ 産業廃棄物を含む。

## (9) 漂着廃棄物等の処理

市内海岸に漂着したポリタンクの回収状況（北九州市）

漂着時期	回収した個数	
	回収した個数	うち有害な液体が入っていたもの
平成30年12月～31年4月	192個	29個
令和元年12月～2年4月	127個	12個
令和2年12月～3年4月	111個	10個
令和3年12月～4年4月	196個	11個
令和4年12月～5年4月	100個	2個
令和5年12月～6年4月	84個	3個
令和6年12月～7年5月	295個	0個

(10) ごみ処理コスト

(単位：億円/年)

年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
収集運搬	52	51	51	53	52	53	53
破碎	2	2	2	3	8	4	4
選別	6	6	6	6	10	8	9
焼却	65	56	57	59	63	65	69
埋立	2	2	2	2	2	2	2
総経費	127	117	118	124	136	132	137

※ 平成30年度以降における焼却部門のコストの減少については、平成29年度で皇后崎工場の償却期間が終了したことによるもの。

(11) 環境教育

## ア 環境ミュージアム及びエコタウンセンター入場者数

(単位：人)

年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	累計※
環境 ミュージアム	114,368	20,328	42,873	75,475	76,579	84,457	2,469,655
エコタウン センター	28,841 (96,150)	6,329 (20,724)	14,112 (40,032)	29,850 (81,650)	36,934 (101,226)	36,644 (98,125)	668,933 (2,178,486)

※ 累計について

- ・環境ミュージアムは、開設（2002（H14）年）からの累計。
- ・エコタウンセンターは、開設（2001（H13）年）からの累計。（ ）内の数値は、エコタウン事業全体の視察者数であり、1998（H10）年度からの視察者数の累計。

## イ 環境首都検定

(単位：人)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
受験者数	4,520	5,117	6,095	5,502	5,751	4,669	3,694
累計受験者数	25,613	30,730	36,825	42,327	48,078	52,747	56,441

※ 検定開始（2008（H20）年）からの累計

## (12) まち美化対策（各種キャンペーンの実施状況）

< “クリーン北九州” まち美化キャンペーン（5月30日～6月30日）>

(単位：人)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
参加人数	32,029	32,652	中止	7,073	18,973	24,685	20,178
回収量	94.5ト	89.7ト	中止	52.5ト	91.8ト	112.5ト	107.2

< 市民いっせいまち美化の日（10月の第1日曜日を中心とした9～10月）>

(単位：人)

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
参加人数	98,152	96,349	42,010	56,982	57,647	65,346	56,966
回収量	449.5ト	393.5ト	303.9ト	302.8ト	323.4ト	343.6ト	322.9

## (13) 本市の処理施設

## ア 施設の状況

	名称	処理能力	処理対象	稼働年	使用年限 (予定)
焼却工場	日明工場	508 トン/日	一般ごみ (一部破碎ごみ)	R7	R27 頃
	皇后崎工場	810 トン/日		H10	R18 頃
	新門司工場	720 トン/日		H19	R19 頃※
選別施設	日明かんびん 資源化センター	32.59 トン/5 時間	かん・びん ペットボトル 紙パック トレイ	R3	R32 頃
	本城かんびん 資源化センター	63 トン/5 時間		H9	R9 頃
	紙パック・トレイ 選別施設	—	紙パック トレイ	H26	R25 頃
	(株)ビートルエン 지니어リング SRC 工場	40.1 トン/8 時間	プラスチック	総合評価方式によ る落札事業者 (R5.10～R8 年度)	
	名称	容量	処理対象	稼働年	使用年限 (予定)
最終処分場	響灘西地区 廃棄物処分場	7,150 千 m <sup>3</sup>	不燃性ごみ	H10	R13 頃

※ 基幹改良を実施した場合

# (14) 生活排水処理状況

(単位：人)

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
行政人口※1 (A)	933,537	925,002	924,903	917,423	901,757
水洗化・生活排水処理人口 (B)	929,636	921,295	921,400	914,039	898,504
下水道処理人口※2	929,070	920,778	920,885	913,544	898,047
合併処理浄化槽人口	337	285	295	280	259
漁業集落排水処理施設人口	229	232	220	215	198
水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽人口)	203	208	210	204	197
非水洗化人口	3,698	3,499	3,299	3,180	3,056
下水道処理区域内人口	932,415	923,941	923,861	916,404	900,784
下水道処理区域外人口	1,122	1,061	1,042	1,019	973
合併処理浄化槽人口	296	246	256	256	243
漁業集落排水処理施設人口	229	232	220	215	198
生活排水未処理人口	597	583	566	548	532
単独処理浄化槽人口	35	37	37	36	35
非水洗化人口	562	546	529	512	497
生活排水処理率※3 (B/A)	99.6%	99.6%	99.6%	99.6%	99.6%

※1 行政人口は、それぞれ次年度の4月1日現在における推計人口

※2 下水道処理人口 = 行政人口－合併処理浄化槽人口

－漁業集落排水処理施設人口

－水洗化・生活排水未処理人口（単独処理浄化槽人口）

－非水洗化人口

※3 生活排水処理率 = 水洗化・生活排水処理人口 (B) / 行政人口 (A)

### 3 産業廃棄物処理の現状

#### (1) 市内産業廃棄物処理フロー

発生量	有価物量	有効利用量合計
6,078 (100%)	2,760 (45.4%)	3,930 (64.7%)
6,364 (100%)	2,892 (45.4%)	4,229 (66.5%)
排出量	中間処理量	残さ量
3,297 (54.2%)	3,148 (51.8%)	1,304 (21.5%)
3,467 (54.5%)	3,286 (51.6%)	1,470 (23.1%)
保管量	中間処理減量	最終処分量
21 (0.3%)	1,844 (30.3%)	135 (2.2%)
5 (0.1%)	1,816 (28.5%)	133 (2.1%)
	最終処分量	
	148 (2.4%)	
	181 (2.8%)	
		最終処分量合計
		283 (4.7%)
		314 (4.9%)

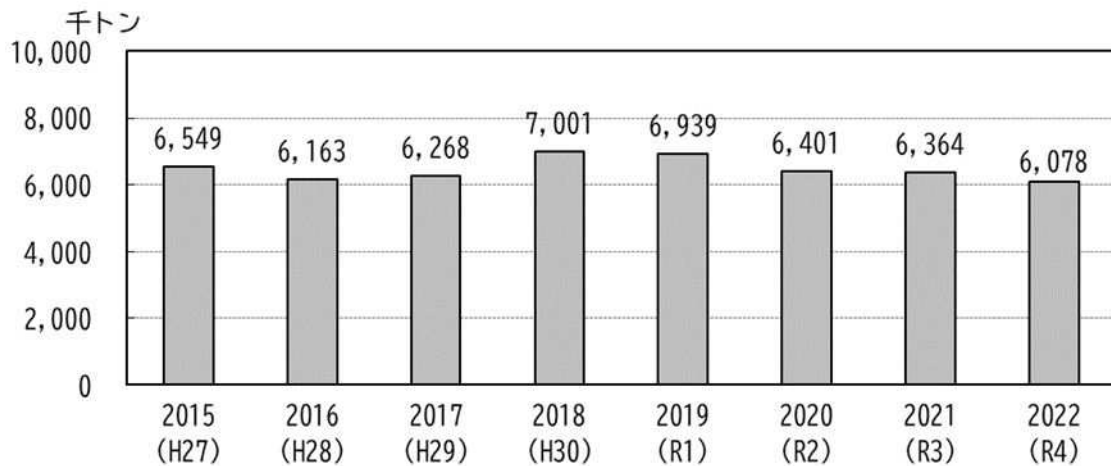
単位：千トン

上段：令和4年度（発生量に対する割合）

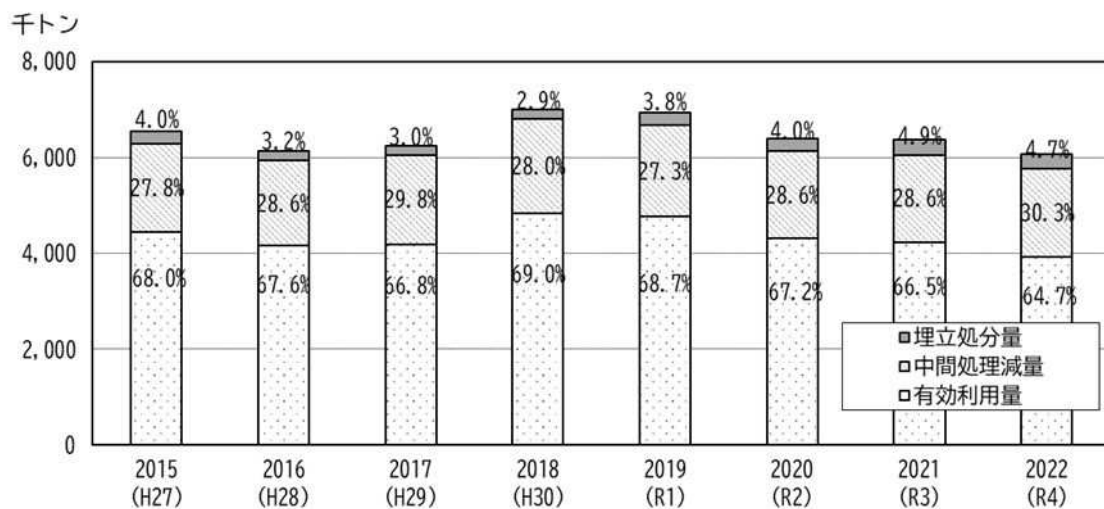
下段：令和3年度（発生量に対する割合）

※各項目の値は、四捨五入して表示しているため、計算結果が合わない場合がある

#### (2) 市内産業廃棄物の発生量の推移



#### ア 処理の内訳





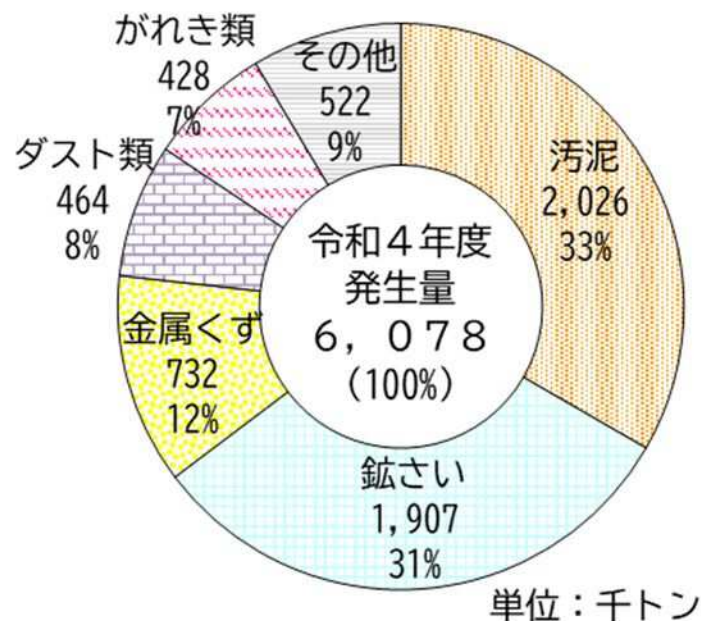
## イ 産業廃棄物の種類別

単位：千トン

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
汚泥	2,024	(29.2%)	2,063	(32.2%)	1,992	(31.3%)	2,026	(33.3%)
鋳さい	2,407	(34.7%)	1,912	(29.9%)	1,993	(31.3%)	1,907	(31.4%)
金属くず	1,019	(14.7%)	946	(14.8%)	805	(12.6%)	732	(12.0%)
ダスト類	521	(7.5%)	454	(7.1%)	487	(7.7%)	464	(7.6%)
がれき類	449	(6.5%)	448	(7.0%)	450	(7.1%)	428	(7.0%)
ガラスくず	154	(2.2%)	149	(2.3%)	155	(2.4%)	128	(2.1%)
廃酸	131	(1.9%)	115	(1.8%)	128	(2.0%)	118	(1.9%)
廃プラスチック類	49	(0.7%)	120	(1.9%)	109	(1.7%)	60	(1.0%)
廃油	51	(0.7%)	71	(1.1%)	100	(1.6%)	48	(0.8%)
燃え殻	46	(0.7%)	21	(0.3%)	27	(0.4%)	29	(0.5%)
木くず	32	(0.5%)	24	(0.4%)	28	(0.4%)	29	(0.5%)
廃アルカリ	18	(0.3%)	37	(0.6%)	22	(0.3%)	18	(0.3%)
紙くず	6	(0.1%)	6	(0.1%)	7	(0.1%)	7	(0.1%)
家畜のふん尿	7	(0.1%)	7	(0.1%)	7	(0.1%)	7	(0.1%)
動植物性残さ	2	(0.0%)	1	(0.0%)	1	(0.0%)	2	(0.0%)
ゴムくず	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
繊維くず	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
家畜の死体	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
動物系固形不要物	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	25	(0.4%)	27	(0.4%)	51	(0.8%)	75	(1.2%)
合計	6,939		6,401		6,364		6,078	

( )内は発生量合計に対する割合

※各項目の値は、四捨五入して表示しているため、計算結果が合わない場合がある



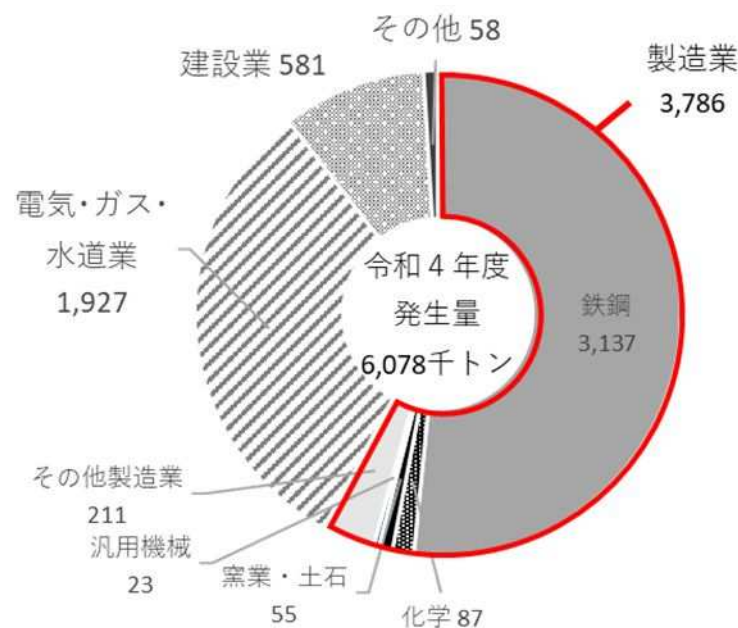
## ウ 業種別

単位：千トン

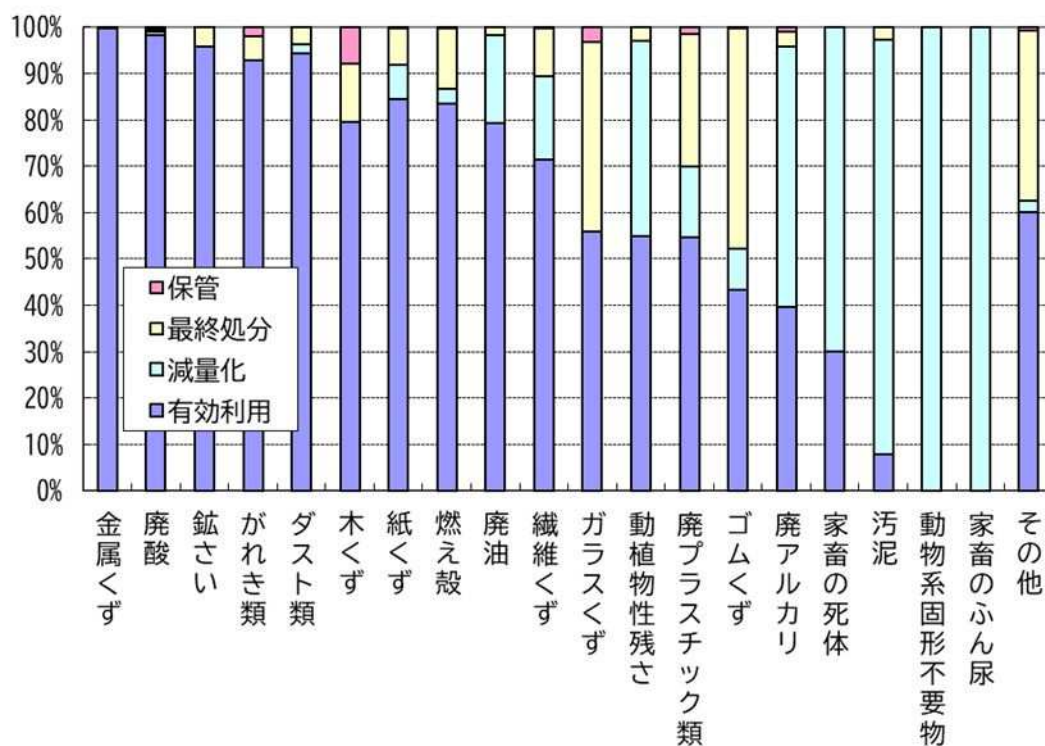
業 種	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
製 造 業	4,467 (64.4%)	3,786 (59.2%)	3,787 (59.5%)	3,513 (57.8%)
鉄 鋼	4,009 (57.8%)	3,333 (52.1%)	3,322 (52.2%)	3,137 (51.6%)
非 鉄 金 属	14 (0.2%)	15 (0.2%)	35 (0.5%)	31 (0.5%)
紙・出版・印刷	47 (0.7%)	50 (0.8%)	28 (0.4%)	24 (0.4%)
化 学	94 (1.4%)	103 (1.6%)	95 (1.5%)	87 (1.4%)
窯 業・土石	68 (1.0%)	64 (1.0%)	65 (1.0%)	55 (0.9%)
食料品・飼料等	18 (0.3%)	16 (0.3%)	49 (0.8%)	51 (0.8%)
汎 用 機 械	27 (0.4%)	13 (0.2%)	16 (0.2%)	23 (0.4%)
石 油・石炭	3 (0.0%)	17 (0.3%)	55 (0.9%)	9 (0.1%)
電 気・電 子	48 (0.7%)	52 (0.8%)	49 (0.8%)	38 (0.6%)
金 属 製 品	93 (1.3%)	72 (1.1%)	19 (0.3%)	18 (0.3%)
輸 送 機 械	5 (0.1%)	4 (0.1%)	6 (0.1%)	6 (0.1%)
プラスチック・ゴム	6 (0.1%)	11 (0.2%)	7 (0.1%)	7 (0.1%)
織 維	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
木 材・家具	3 (0.0%)	5 (0.1%)	3 (0.0%)	3 (0.0%)
その他製造業	31 (0.5%)	32 (0.5%)	38 (0.6%)	26 (0.4%)
電気・ガス・水道業	1,907 (27.5%)	1,825 (28.5%)	1,813 (28.5%)	1,927 (31.7%)
建設業	464 (6.7%)	523 (8.2%)	533 (8.4%)	581 (9.6%)
農業	7 (0.1%)	7 (0.1%)	7 (0.1%)	7 (0.1%)
鉱業	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
医療・福祉	2 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.0%)	1 (0.0%)
卸売・小売業	21 (0.3%)	8 (0.1%)	20 (0.3%)	17 (0.3%)
情報通信業、運輸業	38 (0.5%)	23 (0.4%)	22 (0.3%)	18 (0.3%)
教育、学習支援、複合サービス業、その他サービス業、公務	28 (0.4%)	11 (0.2%)	24 (0.4%)	10 (0.2%)
その他	6 (0.1%)	216 (3.4%)	156 (2.4%)	4 (0.1%)
合 計	6,939	6,401	6,364	6,078

( )内は発生量合計に対する割合

※各項目の値は、四捨五入して表示しているため、計算結果が合わない場合がある



### (3) 産業廃棄物の種類ごとの処理状況（割合）（2022 年度）



### (4) 有効利用量上位の産業廃棄物の種類（2022 年度）

（単位：千トン）

廃棄物の種類	発生量	有効利用量	有効利用率
鋳さい	1,907	1,826	95.8%
金属くず	732	730	99.7%
ダスト類	464	438	94.4%
がれき類	428	404	94.4%
その他	2,547	532	20.9%
合計	6,078	3,930	64.7%